

小中一貫教育だより

済美中学校区

済美中 津之郷小 赤坂小 瀬戸小

2016年(平成28年)11月

福山市立済美中学校区で学んでよかったと思える9年間に

済美中学校区小中連携推進デザイン

- ①生き方を判断するための「基礎学力」を身につける。
- ②かかわり合いながら「伝え合う力」を身につける。
- ③目標に向かって努力し、「やりきる」ことができる生徒。

私たちがめざす
中学校卒業時、生徒につけたい力の
イメージ

9年間の育ちの姿	取組の柱	小学校(1年後の目指す児童の姿)				中学校(1年後の目指す生徒の姿)				
		前期<基礎・基本の習得期>				中期<学びの活用・充実期>		後期<進路実現期>		
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年	3年
基礎学力の向上 自分の考えをもち、伝え合う力を身につけることができる。主体的な学びができる。	ことば	・主語・述語、順序をはっきりさせて		・理由(根拠)を添えて		・相手や目的に応じ、話の構成(ナンバリング等)を工夫して			・目的や場面に応じ、論理的な構成(事実と意見の関係・筋道)や展開(結論先行等)を考えて	
	ノート	・課題(めあて)をていねいに最後まで		・図や絵などを使って、分かりやすく		・気づきなど自分の考えを入れて			・キーワードを入れ、効果的に	
	読書	月5冊以上 ・本に親しみ、楽しんで		月300ページ以上 ・いろいろな読み物に興味を持ち		月500ページ以上 ・目的に応じて幅広く		月700ページ以上 ・目的に応じて幅広く		月800ページ以上 ・目的に応じて幅広く
	家庭学習	家庭学習時間30分以上 「決められた学習」		家庭学習時間45分以上 「自ら進んで」		家庭学習時間60分以上 「自分で考え」		家庭学習時間70分以上 「計画的に」	家庭学習時間80分以上 「軽重をつけて」	家庭学習時間90分以上 「主体的に」
心の育成 かかわり合いながら、感謝と思いやりの気持ちを持って行動することができる。 ルールを守り、マナーを身につけることができる。	あいさつ	・「誰にでも」「明るく元気よく」				・「相手を意識して」「自分から進んで」			・「状況に応じて(立ち止まってなど)」	
	そうじ	無言で自分の掃除をやりきる		・掃除道具の使い方を覚える		・掃除の手順を身につける	・自分で進んで段取りよくできる	・自分の分担以上の掃除ができる		

本年度の重点取組みについての達成状況

家庭学習 1学期90%の児童・生徒が達成できました。

学習習慣を育み、授業で習った内容を復習し、確実に身に付けられるようにします。

各学年の1学期末の校区の状況

《小学校》

- 1・2年生 30分以上……92%
- 3・4年生 45分以上……95%
- 5・6年生 60分以上……92%

《中学校》

(1年…70分, 2年…80分, 3年90分以上) ……81.1%

あいさつ 1学期90%の児童・生徒が達成できました。

コミュニケーションの第一歩はあいさつからです。社会性を育み、かかわり合う力を高めます。

各学年の1学期末の校区の状況

《小学校》

- 1・2年生…誰でも明るく元気よく……95%
- 3・4年生…誰でも明るく元気よく……93%
- 5・6年生…相手を意識して 自分から…88%

《中学校》

中学生 …状況に応じて 立ち止まって…84%

そうじ

1学期88%の児童・生徒が達成できました。

清潔な環境を作る豊かな心を育み、きまりを守って無言そうじができるようにします。

各学年の1学期末の校区の状況

《小学校》

1・2年生	自分の分担を……	87%
3・4年生	自分の分担を……	93%
5・6年生	時間いっぱい……	95%

《中学校》

(1年…時間いっぱい, 2・3年…すみずみまで) ……77.0%

体力づくり

1学期81%の児童・生徒が達成できました。

運動能力について自己課題をもち、トレーニングを重ね、しなやかな体を育みます。

各学年の1学期末の校区の状況

《小学校》

1・2年生	……	82.9%
3・4年生	……	85.1%
5・6年生	……	79.0%

《中学校》

中学生 ……77.9%

校区合同リーダー研修会(児童会・生徒会)

今年も済美中学校区生徒会児童会の合同リーダー研修を7月25日に行いました。今年度は県立福山少年自然の家において、人間関係づくりプログラムと意見交流を行いました。生徒の感想を紹介します。



特に心に残っていることは確認し合うことの大切さです。みんなですれればよくなるかを考え、考えたことを確認し合い、協力することが必要だと学ぶことができました。

人間関係づくりプログラムでは知らない人と交流していく中で相手の特徴を理解し、グループで様々なミッションに挑戦することができました。その中でもなぜ達成できたのかを考えたときに一番多く出た意見は、『声かけ、協力』でした。



小学生と一緒に体験していくと、自然と団結力が生まれてきて、最後にはまとまっていた。何事にも挑戦していくことが大切だと学びました。

地域・家庭のご協力お願いいたします

本が身近にある環境を作る。

あいさつ・語り合い

今後の取組みへ向けて

あいさつ週間を設定し、教員や地域・保護者の方による評価であいさつへの意識を高める。

授業の中で前時のノート内容を活用する。

今後の主な小中合同の取組み

- 小中合同あいさつ運動
- 中学校オープンスクール…11月15日(火)
- 済美中校区合同研修会…11月16日(水)
- 家庭学習強化週間(年5回)